

臨床検査科

プログラム名： 川崎医科大学臨床検査専門研修プログラム

定員： 各年次1名 合計3名

プログラム年数： 3年

総医Cプログラム担当者： 中央検査部(検査診断学一病態解析) 北中 明

総医C問合せ先： 中央検査部管理室 内線 82410

E-mail: kitanaka@med.kawasaki-m.ac.jp(北中)

研修スケジュール：

	1年目	2年目		3年目	
	4～3月	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月
臨床検査 専門研修 プログラム	川崎医大附属病院	川崎医大 附属病院	川崎医科 大学総合 医療センター	川崎医科 大学総合 医療センター	川崎医大 附属病院

基幹施設と連携施設：

基幹施設	川崎医科大学附属病院	24ヵ月
連携施設	川崎医科大学総合医療センター	12ヵ月

プログラム統括責任者： 川崎医科大学附属病院中央検査部 北中 明

プログラム基本情報：本研修プログラムでは、臨床検査医学総論、一般検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学の基本7科目の研修を行います。基幹施設である川崎医科大学附属病院で多くの研修を行います。連携施設である川崎医科大学総合医療センターでの研修を行うことにより、地域医療を含めて臨床検査医学全体をカバーできる研修となるように企画されています。

研修の修了が認定されたら専門医認定試験の受験資格が与えられます。この試験に合格すると、臨床検査専門医となります。臨床検査専門医には、さらに経験を積み大規模・中規模施設の臨床検査部門を管理・運営すること、指導医となって次世代の臨床検査専門医を育成すること、教育研究機関において臨床検査医学の教育研究を担うことが期待されています。

研修目標・到達目標：

以下の4つについてそれぞれ研修すべき内容が定められています。

- 1) 経験すべき臨床検査(検査医学総論、一般検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学)
- 2) 報告書の作成とコンサルテーションへの対応
- 3) 検査データカンファレンス(RCPC: reversed clinico-pathological conference)
- 4) 地域医療の経験

各年の習熟目標としては、検査報告書の作成を例にすると、1年目は指導医の点検を必要とするレベルから、2、3年目には指導医の点検を必要としないレベルを目指します。RCPCは全期間を通して行います。また研究などの学術的活動も1年目終了後に随時行うことができます。

取得可能な専門医：臨床検査専門医